

令和2年度 社会福祉法人滋宏福社会 事業報告

I. 法人本部 総務・経理

1. 本年度の重点目標

(1) 新型コロナウイルス感染予防

事業のあらゆる活動に伴う3密や飛沫感染防止を徹底するため、作業台、テーブル、手すりやドア等の清拭、食堂、面談室でのアクリル板や間仕切りボードの設置、食堂の時間差利用、職員立ち合いによる毎朝の検温、部屋の換気、手指の消毒の徹底等に全体で取り組みをおこないました。

(2) 適切な運営と質の向上

令和2年4月7日・令和3年1月8日に政府より新型インフルエンザ等対策特別措置法第32条に基づき、感染拡大防止に関する措置等を内容とする「緊急事態宣言」が発せられたことで、利用者自らの自粛等のことから障害者福祉サービス事業が前年同月比で1割弱下回っている月があったものの、全体では障害者福祉サービス事業は前年度収入とほぼ変わりはありませんでした。就労支援事業は当初売上計画21,113千円に対し19,999千円となり、1,114千円下回りました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、パン販売の減少・病院清掃及びクリーニング等施設外就労の休止が影響しました。損益のマイナスは、生産活動活性化支援事業の交付によって一部補うことができました。

施設の経営では、透明性の確保・職員の経営理念・経営方針の共有化を図り、コロナ禍だからこそ施設利用者がより安全で安心して生きがいをもてる、地域社会への開かれた施設運営をめざし、法人本部の機能強化並びに人材確保・育成策等を充実強化することを目的として、事業を実施しました。

2. 評議員会開催状況

(1) 定時評議員会 書面決議

審 議 内 容
(議案) ・令和元年度 事業報告(案)について ・令和元年度 決算報告(案)及び監査報告について ・定款の変更認可申請について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、評議員会の決議の省略
社会福祉法第 45 条の 9 第 10 項で準用する一般社団法人及び一般社
団法人に関する法律第 194 条
評議員会の決議があったものとみなされた日
令和 2 年 5 月 31 日（日）

(2) 第 2 回評議員会

審 議 内 容
(議案) ・令和 2 年度 補正予算（案）について ・令和 3 年度 事業計画（案）について ・令和 3 年度 事業予算（案）について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、評議員会の決議の省略
社会福祉法第 45 条の 9 第 10 項で準用する一般社団法人及び一般社
団法人に関する法律第 194 条
評議員会の決議があったものとみなされた日
令和 3 年 3 月 23 日（火）

3. 理事会開催状況

(1) 第 1 回理事会

審 議 内 容
(議案) ・令和元年度 事業報告（案）について ・令和元年度 決算報告（案）及び監査報告について ・定款の変更認可申請について ・令和 2 年度第 1 回評議員会の招集について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、理事会の決議の省略
社会福祉法第 45 条の 14 第 9 項で準用する一般社団法人及び一般社
団法人に関する法律第 96 条及び定款第 28 条第 2 項
理事会の決議があったものとみなされた日
令和 2 年 5 月 16 日（土）

(2) 第2回理事会

日時 令和2年10月24日(土) 13時30分～14時20分

場所 医療法人達磨会 東加古川病院新館4階 多目的ホール

出席者 理事定数6名以上10名以内、現在員10名中出席者10名
監事定数2名、現在員2名中1名

審議内容
(議案) ・生活介護事業 運営規程の一部改正(案)について ・自立訓練(生活訓練)事業 運営規程の一部改正(案)について ・短期入所事業 運営規程の一部改正(案)について ・就労継続支援B型第1工房 運営規程の一部改正(案)について ・就労継続支援B型第2工房 運営規程の一部改正(案)について ・地域活動支援センター 運営規程の一部改正(案)について

報告事項

- ・法人及び各事業の報告

(3) 第3回理事会

審議内容
(議案) ・令和2年度 補正予算(案)について ・令和3年度 事業計画(案)について ・令和3年度 事業予算(案)について ・育児休業に関する規則の一部改正(案)について ・介護休業等に関する規則の一部改正(案)について ・旅費規程の一部改正(案)について ・令和2年度第2回評議員会の招集について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、理事会の決議の省略
社会福祉法第45条の14第9項で準用する一般社団法人及び一般社
団法人に関する法律第96条及び定款第28条第2項
理事会の決議があったものとみなされた日
令和3年2月26日(金)

4. 監査実施状況

(1) 監事監査

日 時 令和2年5月7日(木) 10時～11時
場 所 障がい者支援センター「てらだ」3階会議室
監 事 淡路実・中田喜高
監査項目 平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年度の業務執行及び財産の状況等について監査を実施しました。

5. 寄附採納

- (1) 令和2年4月20日
厚生労働省
物品 布マスク 1,070枚
- (2) 令和2年5月1日
ジョイスリー(株)
物品 次亜塩素水 90L
- (3) 令和2年5月16日
加古川市ロータリークラブ
物品 マスク 50枚入×40箱
- (4) 令和2年10月6日
兵庫県
物品 ハンドスキッシュ 800ml×5本
- (5) 令和2年10月8日
兵庫県
物品 マスク 50枚入×53箱
- (6) 令和2年10月28日
誕生日ありがとう献金運動運営委員会
現金 50,000円
- (7) 令和2年12月21日
加古川市
物品 使い捨て手袋 M100枚×5箱
使い捨て手袋 L100枚×5箱 30枚×10袋
- (8) 令和3年1月21日
いなみ野学園
物品 手作り布マスク 40枚

- (9) 令和3年1月21日
平岡中学校
物品 手作り布マスク 18枚
- (10) 令和3年1月28日
加古川市
物品 使い捨て手袋ビニール S100枚×3箱
使い捨て手袋ビニール M100枚×6箱
使い捨て手袋ポリエチレン 30枚×17袋
- (11) 令和3年2月17日
野口山町内会
現金 10,000円
- (12) 令和3年2月18日
加古川市
物品 使い捨て手袋 S100枚×6箱
使い捨て手袋 M100枚×12箱
使い捨て手袋 L100枚×4箱 ポリエチレン 30枚×34袋

6. 施設設備等補助事業

- (1) 令和2年9月
兵庫県中小企業事業再開支援事業
サーモグラフィー卓上体温計
助成金額 20万円
- (2) 令和2年10月
公益財団法人 みずほ福祉助成財団
フォークリフトとパレットトラックの整備
助成金額 100万円
- (3) 令和3年2月
公益財団法人 神戸やまぶき財団
スチームコンベクションとガスレンジ
助成金額 82万円
- (4) 令和3年3月
兵庫県
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金
助成金額 2,581千円

(5) 令和3年3月

兵庫県

就労系障害福祉サービスの生産活動強化への支援交付金

助成金額 160万円

7. 研修の状況

新型コロナウイルスの感染状況を受け、必要とされている研修が次々と先延ばし又は中止となってしまうことは、法人にとって福祉サービスの低下に繋がってしまいます。福祉職にとって研修は、日々の業務を振り返りながら、各自の知識や技術を向上させ、施設のサービスの質を維持・発展させていくために、とても大切なものであることから、コロナ禍では多様なオンライン研修等を織り交ぜ職員の資質の向上に努めました。内部研修では感染拡大防止対策を徹底し、外部研修に至っては、感染拡大防止対策等を講じている研修会に職員を参加させました。

(1) 内部研修会（全職員参加）

- ① 避難訓練・防災訓練
- ② 救命救急研修会
- ③ 人権研修会 輝いて生きる 2019
- ④ 外部研修参加者による発表
- ⑤ 感染症対策オンライン研修

(2) 外部研修会

- | | |
|-----------------------|------|
| ① 会計実務基礎講座 | 1名出席 |
| ② 人員配置と実地指導（zoom） | 3名出席 |
| ③ 実施指導のメリハリ解説（zoom） | 5名出席 |
| ④ はじめて福祉の仕事に就く人のための研修 | 1名出席 |
| ⑤ OJTリーダー養成研修 | 1名出席 |
| ⑥ 地域移行研修会 | 2名出席 |
| ⑦ チームアプローチ実践研修 | 1名出席 |
| ⑧ サービス管理責任者更新研修 | 2名出席 |
| ⑨ 電気講習会 | 1名出席 |
| ⑩ 発達障害実務者養成講座 | 1名出席 |
| ⑪ アセスメント向上研修 | 1名出席 |
| ⑫ ストレスマネジメント研修 | 1名出席 |
| ⑬ 福祉専門職対象防災対応向上研修 | 1名出席 |

⑭ リーダーシップ研修 (zoom)	1名出席
⑮ コミュニケーション基礎研修	1名出席
⑯ 相談支援フォローアップ圏域研修	1名出席
⑰ 兵庫県障害者相談支援専門コース別研修 WEB	1名出席
⑱ 接遇・日常マナーリーダー研修	2名出席
⑲ 会計実務担当者研修 (税務編・予算・決算)	2名出席
⑳ 相談支援従事者現任研修 WEB	1名出席
㉑ 社会福祉法人財務管理研修	1名出席
㉒ 権利擁護支援セミナー	2名出席
㉓ 感染症対策研修 (オンライン)	入所職員

(3) 事故及び感染症予防対策委員会 2カ月に1回開催

令和2年度 事故報告 スタッフによる事故 35件
 (器物破損・車両物損・事務処理ミス等)
 利用者による事故 12件
 (転倒・怪我等)
 ヒヤリ・ハット事例 65件

利用者が施設において、安心・安全な生活が送れるよう、ヒヤリ・ハット、事故報告書により未然防止及び再発防止に努めました。

II. 入所部門

1. 施設入所、生活介護、自立訓練（生活訓練）、短期入所の利用状況について

事業	定員 (人)	H30年度		R元年度		R2年度	
		利用率 (%)	利用料 (円)	利用率 (%)	利用料 (円)	利用率 (%)	利用料 (円)
施設入所	30	97.2	39,867,837	95.4	37,656,065	97.4	39,076,389
生活介護	20	91.3	38,914,175	91.0	38,583,244	89.8	38,193,930
自立訓練	10	90.2	18,950,941	85.7	17,800,954	87.8	18,456,737
短期入所	2	67.9	2,586,380	82.9	3,174,882	56.8	2,223,085
合計(円)			100,319,333		97,215,145		97,950,141

2. 施設入所者の地域生活移行について

移行先	一人暮らし	自宅	合計
移行人数	2名	2名	4名
性別・年代	男性50代1名 男性60代1名	男性20代1名 男性30代1名	

3. 新規入所者

事業	生活介護	自立訓練	合計
性別・年代	男性50代1名	女性40代1名	2名

4. 活動報告

- (1) 病院入院患者やスタッフに向けた「てらだ」入所部門の紹介動画(12分程)を作成しました。動画は、退院先の施設として知ってもらうため利用者の暮らしの様子や日中プログラム、1日の生活の流れが具体的にイメージできるように作成しています。また、病院のプログラム活動の中で活用してもらえるようにしました。
- (2) コロナ禍で東加古川病院開放病棟との対面での交流会は開催することができませんでしたが、リモート交流会に切り替えて実施しました。交流会では、開放病棟から退院して「てらだ」で生活する利用者に出演を依頼し、入院患者からの質疑応答の時間を設け「てらだ」での生活について利用者の視点から学ぶ機会を設けました。
- (3) 自立訓練の利用者を中心にグループホームの見学会をおこないグループホームの暮らし方や「てらだ」から地域移行で一人暮らしをしている利用者から体験話をしてもらい一人暮らしのイメージができるような取り組みをおこないました。

Ⅲ. 就労継続支援 B 型第 1 工房

- ・令和 3 年 3 月現在の契約者数 46 名
- ・令和 2 年度新規利用者数 7 名
- ・令和 2 年度退所者数 9 名

・退所理由内訳	体調不良	就労	他施設へ	その他
	2	2	0	5

・利用率及び平均工賃

	利用人数(人)	延べ人数(人)	事業日数(日)	利用率(%)	平均工賃(円)
4月	43	510	25	102.0	9,561
5月	44	453	23	98.5	7,466
6月	45	634	26	121.9	11,298
7月	44	575	25	115.0	10,633
8月	41	511	25	102.2	10,873
9月	46	515	24	107.3	8,811
10月	46	602	27	111.5	11,048
11月	46	536	23	116.5	9,475
12月	45	557	25	111.4	10,136
1月	44	463	23	100.7	8,560
2月	43	437	22	99.3	11,670
3月	42	595	26	114.4	33,313
平均	44	532.3	24.5	108.6	11,903
前年度平均	44	539.1	24.4	110.4	11,078

・活動報告

収 益 事 業：施設外就労 - 東加古川病院清掃

山陽アムナック農作物出荷準備 (R2.5~作業なし)

軽 作 業 - 安全興業 (チェーンポール等梱包作業)

ハリマパッケージ (段ボール組立)

クリーニング京屋 (タオルたたみ作業)

青山商店 (輸出商品シール貼り)

清掃作業 - 施設内清掃

東加古川病院クリーニング

東加古川病院、緑寿苑 10 月エアコンフィルター、
換気扇清掃

雑木林清掃管理

パン工房 - パン製造、販売（配達、R2.8 まで平岡中学校、
安全興業、ワークショップ絆）

となっているほか、スポットでの作業もおこないました。

就労支援：

	人数	継続	退職	備 考
クローズ	1	0	1	退職後てらだでフォローをする
オープン	1	1	0	R3.4～定着支援契約
就労 A	0	0	0	
合計	2	1	1	

- ・毎週金曜日午後から仕事のための勉強会、就労 SST をおこない、毎回 10 名程度の方が参加しました。

IV. 就労定着支援事業

- ・令和 3 年 1 月で 1 名の方が期間満了で終了しました。
- ・就労定着率は 100% を維持しています。

V. 就労継続支援B型第2工房

- ・令和3年3月31日現在の契約者数 31名
- ・令和2年度退所者数 1名
- ・令和2年度新規契約者数 3名

・利用率及び平均工賃

	利用人数(人)	延人数(人)	事業日(日)	利用率(%)	平均工賃(円)
4月	28	461	23	100.2	7,870
5月	28	410	21	97.6	6,072
6月	28	483	24	100.6	10,305
7月	28	489	23	106.3	10,755
8月	28	469	23	102.0	9,850
9月	28	444	22	100.9	9,972
10月	28	497	25	99.4	10,964
11月	28	451	21	107.4	9,568
12月	28	498	23	108.3	10,458
1月	28	416	21	99.0	8,443
2月	28	423	20	105.8	12,098
3月	29	503	25	100.6	9,158
平均	28.08	462	22.58	102.3	9,626
前年度平均	26.5	463.4	22.75	101.8	10,536

・活動報告

感染症対策を適宜おこないながらサービスを提供しました。中間報告のとおり、5月についてはGWの休日が平日3日間あったため利用率や平均工賃の減少がありましたが、コロナウイルスの影響を受けての利用率や収益等に大幅な減少はみられませんでした。しかしながら、コロナ禍が長引いたことにより、施設外就労として契約していた会社が令和3年2月より休業となってしまう、施設外就労が停止となりました。そのため、2月より収益が大幅に減少しました。

また、例年イベント等で積極的に野菜の販売をおこなっていましたが、2年度については、軒並みイベントが中止となり販売することができませんでした。しかし、これについては、以前から納品していた山陽アムナックへの納品量を増やすことにより対応しました。

収益作業：農 作 業…野菜の栽培、稲作
軽 作 業…畑や工事用資材の梱包作業
単管キャップのシール貼り
カラーコーンのねじ止め
輸出向け商品のシール貼り
施設外就労…エコフィード循環事業協同組合（加西市）
※令和3年2月より休業のため停止
清 掃 作 業…東加古川病院所有の雑木林清掃管理
ネクスコ西日本 PA ハーブ園の除草管理
販 売…野菜の納品（山陽アムナック経由各種スーパーへ）

レク活動：外出してのレク活動はおこないませんでした。ただ、外出できないストレスが利用者にもみられたため、レク活動についてはあえて中止にはせず、施設内にて感染症対策を十分におこないながら実施し、楽しめる場と時間を提供、ストレスの解消に努めました。

VI. 地域活動支援センター

1. 契約者数等

- ・令和3年3月31日現在の契約者数 25名
- ・令和2年度新規契約者数 3名
- ・令和2年度契約終了者数 3名（てらだ就労B第1工房へ移行、体調不良による）
- ・住所地内訳：加古川市18名、高砂市1名、播磨町3名、稲美町3名
- ・障害種別内訳：精神8名、知的16名、身体0名、重複（知的・精神）1名

2. 延べ利用者数（コロナ禍拡大防止の為、4月5月8月は土曜日を休みとする。）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ人数 (人)	192	161	242	215	177	190	248	208	227	180	199	214	2,453
開所日数 (日)	23	18	26	25	20	23	27	22	25	23	22	25	279
1日平均 (人)	8.3	8.9	9.3	8.6	8.9	8.3	9.2	9.5	9.1	7.8	9.0	8.6	8.8

3. 補助対象となる利用者数（人）…月5日以上、年60日以上来所の利用者

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
加古川市	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	146
高砂市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
播磨町	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
稲美町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	206

4. 運営補助金額：13,026,000円

加古川市	高砂市	播磨町	稲美町
9,234,000円	758,000円	2,276,000円	758,000円

5. 活動内容

ミーティング、誕生会、お仕事タイム、てらだCafé、クッキング、作品作り、ウォーキング、リラックスタイム、書道練習、茶道練習、お菓子作り、ボランティアによる活動：（茶道、書道は自粛、活動は6月7月10月11月のみ実施）
陶芸・リズム遊び・折り紙・パンフラワー粘土・ガーデニング等
年間行事：花見・BBQ・夏祭り・ミニ運動会・新年会・節分・ひなまつり等

VII. 相談支援

1. 計画相談支援・障害児相談支援

指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業の契約者数は、令和3年3月末時点で466名です。昨年度と比較すると25名の減(新規契約34名、契約終了59名)となりました。請求件数は、年間2,276件(前年度2,268件)、月平均189.6件(前年度189件)と8件の増となりました。

職員体制については、令和2年6月に相談支援専門員1名の退職に伴い、8月には1名を採用し、相談支援専門員7名で相談にあたりました。新たに採用した職員が「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」を修了していたため、要医療児者支援体制加算を算定しました。

事業所体制としては特定事業所の要件を維持しています。基幹相談支援センターからの計画相談の依頼に対しセンターと連携した支援をおこないました。また、加古川市の自立支援協議会相談支援部会に出席しました。

2. 指定一般相談支援事業

地域移行・地域定着支援については、令和2年度中にサービス提供がありませんでした。

本年度には精神障害者地域移行推進連絡会へ参加し、地域移行支援に従事したことのない相談員への研修をおこないました。また、市内の指定一般相談支援事業所や保健所、市町、基幹相談支援センター、病院等とサービス利用に向けての課題の共有をおこない、今後の利用に向けて各機関との連携体制を確認しました。

3. 受託事業

東播磨臨海地域における相談支援機能強化事業を播磨町・稲美町より受託し、専門職員を窓口派遣して相談業務をおこないました。

<令和2年度の各町からの受託料>

稲美町（火曜日）	1,174,000円
播磨町（金曜日）	1,152,000円
合計	2,326,000円

4. 災害時の対応

相談員の防災知識を深めるため「福祉専門職対象防災対応力向上研修」に参加し、災害時にどのような避難計画が必要か情報の共有をおこないました。

新型コロナウイルスの対応では、事業所との密な連携を図りました。コロナによりサービス利用が困難となった場合もありましたが、他のサービスや事業所につなげる等、臨機応変にサービスの調整をおこないました。